

先生各位

新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 平成 22 年 12 月 2 日 (木) 受付分より

《検査要項》

検査項目名称	ペントシジン
検査コード	6738
検体量	血漿 0.5 mL
容器・保存	E1 A2・凍結
実施料(判断料)	120点(生化)
所要日数	16 ~ 20 日
検査方法	ELISA 法
基準値・単位	設定なし・ $\mu\text{g}/\text{mL}$ (参考基準値) 0.00915 ~ 0.0431

保険収載名称：ペントシジン

保険注釈：ア ペントシジンは、尿素窒素 (BUN) またはクレアチニンにより腎機能低下 (糖尿病性腎症によるものを除く) が疑われた場合に、3 月に 1 回に限り算定できる。

イ ただし、シスタチン C を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

ウ 診療報酬明細書の摘要欄に前回の実施日 (初回の場合は初回である旨) を記載する。

《解説》

ペントシジンは、構造が同定されている数少ない AGEs (糖化最終産物) の一つです。糖化・酸化反応生成物とも呼ばれており、生体蛋白質が糖化および酸化されたことを反映するマーカーとして注目されています。ペントシジンは、血漿中のクレアチニンや尿素窒素値が上昇する以前の「軽度腎機能障害期」から「高度腎機能障害期」、「腎不全期」、「尿毒症期」、「血液・腹膜透析期」への腎機能の低下に伴い血漿中濃度が上昇するため、腎疾患の診断に有用です。